

立川市立第二小学校 令和7年度校内研究 構想図

研究主題

言葉でつながり 学び続ける子の育成

～「選択」「表現・対話」「振り返り」を通して育む 伝える力 ～

社会の情勢（背景）

- ・ Society 5.0 に向けた取組
- ・ 人生 100 年時代
- ・ ウェルビーイングの向上

学校の教育目標

- 健康で明るい子
- 進んで学習する子
- 心豊かで思いやりのある子

児童の実態

- ・ 意識調査において「自分と違う意見について考えることが楽しい。」等の項目に課題が見られた。

目指す児童像

言葉でつながり 学び続ける子

低学年

自分と相手の考えの同異に気づき、新たな学びを得ようとし続ける児童

中学年

自分の思いや考えを豊かな言葉で表現したり、相手の思いや考えを正確に理解し認めたりすることができる児童

高学年

自分の思いや考えを豊かな言葉で表現したり、相手の思いや考えを正確に理解し言葉のキャッチボールを楽しんだりすることができる児童

研究仮説

児童が学習過程において、「選択」「表現・対話」「振り返り」を繰り返し経験し、全教科等において積み重ねていくことで、伝える力（表現力・対話力）が育まれ、言葉を通して他者とつながりをもち、主体的に学び続けることができるようになるのではないか。

研究主題に迫るための手立て

①「選択」「表現・対話」「振り返り」を意図的に取り入れた
単元構成

選択

- ・ 学びを達成するための課題を選択させる。
- ・ 自分の考えを選択させる。
- ・ 学習形態や表現方法を選択させる。

振り返り

- ・ 自分の学び（学習進度や理解度、感じていることなど）を理解させる。
- ・ 次の学びにつなげさせる。
- ・ 自分や友達の良さに気付かせる。

表現・対話

- ・ 言語を用いて情報を理解し、自分の思いや考えを表現させる。
- ・ 他者と相互に聞き合ったり、問い返したりして理解を深めさせる。

②基礎的・基本的な学力を育む朝学習

- ・ 語彙を増やす活動、自分の意見を伝えたり友達の意見を聞いたりする活動、など

③テーマに沿った研修体制

- ・ 毎週 1 回のプチ研修
- ・ 授業交流会（3～4 人のグループで授業を見合う）